なかべ学院
中部少年学院後援会
〒750-0081
山口県下関市彦島角倉町
3丁目6番17号
TEL (083) 266−1934
発行　広報部
印刷
㈱ ナカハラプリンテックス
TEL (083) 266−4601

令和5年5月27日(土)　4年振りに「さつき祭」を開催しました。

喜寿を祝す

中部少年学院
理事長　石川　啓

故小野倉蔵夫妻が、「無私」の心で育まれてきた中部少年学院は、七七歳の喜寿を迎えました。

七七星霜、中部少年学院は大きな課題に当面しその都度解決の歩みを続けて来ました。

平成二四年、角倉町に児童養護施なかべ学院の新院舎が竣工しました。新院舎は、鉄筋コンクリート三階建で五つのホームで構成されています。自然の美しい風物に心を寄せることを願って、五つのホームは「花鳥風月・海」と名付けられました。日々の生活では各自に「自分の城」とも言えるスペースの出来たことで自分の時間や空間を大切にできるようになりました。

平成三一年、古屋町に乳児院なかべ学院が竣工しました。新しい院舎は三棟のユニットの六つのホームで構成されています。三棟のユニットは大きく開かれた窓からの陽光が差し込み、木の香が優しく明るく温かく子ども達にとってうれしい環境となりました。三棟のユニットは「光・輝・夢」と名付け、六つのホームは、子どもたちに馴染みの深い花々に思いを寄せて命名しました。一人一人に向き合って、一人ひとりを育む家庭的な養育を実践します。

令和三年、児童養護施なかべ学院では、山中町の一軒家をお借りして、分園型グループホーム「山中ホーム」を開設いたしました。小・中学の女子児童六名が一緒に生活します。続いて、角倉町に新築された一軒家をお借りして「角倉ホーム」を開設。女子児童六名のうち高校生が三名で大人らしいホームになっています。令和四年には、男子児童六名のうち高校生四名で生活する「角倉海ホーム」を開設しました。これ等の分園型のホームの開設は、従来の大舎方式から家庭的養育体制への整備を目指すもので、今後も段階的に分園化を進めていきます。

平成三〇年、下関市の委託を受けて、子ども家庭支援センター「紙風船」で子ども家庭支援拠点事業を開始しました。従来の活動に加えて、「こども家庭支援の拠点」としての活動を広げることになりました。障害児通所支援事業所「そよ風」とも緊密な連携のもとに、地域における子育て支援の中核を担っていくことを目指しています。

子供は社会の宝であり、その未来は輝くものでなければなりません。「喜寿」を迎えた中部少年学院はこれからも子供の未来を拓くためにたゆまぬ努力を続けます。

新任挨拶

児童養護施設

こんにちは。川越有純です。趣味は散歩です。休日は散歩をして自然に触れてリラックスしています。私は食べることが大好きなので散歩の中で街の美味しいお店を見つけることも楽しんでいます。子どもとの関わりで学んだことを活かし、一人ひとりの子どもが求めていることに気付いて、すぐに実行できる保育士でありたいです。

保育士　川越　有純

こんにちは。岡本大希です。趣味は読書です。自分は歴史が好きで本屋に行っても歴史に関する本を読んでいます。その中でも「永遠のゼロ」と言った戦争の本を読んでいます。戦争の本を読むことで、戦争の悲惨さを知ることができるからです。私は男性保育士として子ども一人の気持ちに寄り添いながら信頼関係を築いていける保育士でありたいです。

保育士　岡本　大希

皆様お待たせしました。お待たせし過ぎたかもしれません…相変わらず馬鹿なことを言っている磯谷です。さらに歳を重ねた私を受け入れて頂きありがとうございます。老体にムチ打ち頑張ります！でもお手柔らかに…

趣味…人を笑わせる事（ほとんどスベってます。）

目標…みんなを笑わせる〝百笑〟になります！

保育士　磯谷　円美

乳児院

子どもたち一人ひとりを大切に、些細な変化に気づき細やかなケアと安心して生活が出来るよう努めてまいりたいと思います。趣味は旅行と食べ歩きです。宜しくお願い致します。

看護師　枝村　未緒

子どもたちが安心安全で楽しく過ごせるように笑顔で楽しみながら子どもたちと関わっていきたいと思います。趣味はドラマ鑑賞です。一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します

保育士　小植　瞳

そよ風

子供達の顔と名前を早く覚えて、先生方とコミュニケーションを大切にして、一生懸命頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。

趣味は、映画鑑賞です。

児童指導員　柴田　稜也

令和4年度　収支報告書

社会福祉法人　中部少年学院後援会（単位　円）

	項目	予算額	決算額	差引	摘要
収入の部	年会費	1,200,000	1,147,000	-53,000	団体(39社) 448,000円 個人(240会) 699,000円
	寄附金等	-	2,133	2,133	
	雑収入	-		-	前年度貸付金返金分　円
	利息	50	44	-6	
	当期収入計	1,200,050	1,149,177	-50,873	
支出の部	事業費	550,000	120,000	-430,000	学院支援費　円 自動車免許習得費用(1人5万)　100,000 高校生クラブ活動奨励金 小学生スポーツ・文化活動奨励金 卒院祝金:予定児童2名　20,000 高校生のスマホ通話料補助 卒院生自立支援費 学院祭費
	広報費	140,000	151,800	11,800	広報誌(そよかぜ) 49号　700部　151,800
	総務費	70,000	85,786	15,786	通信費(広報誌送料等)　78,345 会議費　7,441
	助成金	287,000	187,000	-100,000	助成金 紙風船支援費　100,000 自主研修補助 ふれあいステーション　30,000 オレンジリボン　30,000 チャイルドライン　20,000 チャイルドライン年金費補助　7,000
	雑費	10,000	-	-10,000	
	予備費	100,000	-	-100,000	
	当期支出額	1,057,000	544,586	-512,414	
当期収支差額		143,050	604,591	461,541	
前期繰越金		4,696,609	5,307,568	610,959	
次期繰越収支差額		4,839,659	5,912,159	1,072,500	

社会福祉法人　中部少年学院　後援会　様
令和4年度の収支について、上記のとおり報告いたします。
令和５年５月８日
会　計　日野　善明

監査の結果、上記のとおり整理されており正当と認めます。
令和５年５月８日　社会福祉法人中部少年学院　後援会
会計監査　松井　重人

財産目録

令和5年3月31日 現在　社会福祉法人　中部少年学院

資産・負債の内訳	金額
Ⅰ 資産の部	
1 流動資産	214,963,709
2 固定資産	863,508,595
3 その他の固定資産	296,101,419
資産合計	1,374,573,723
Ⅱ 負債の部	
1 流動負債	72,041,955
2 固定負債	110,856,868
負債合計	182,898,823
差引純資産	1,191,674,900

令和４年度　社会福祉法人　中部少年学院　資金収支計算書

（自）令和4年4月1日（至）令和5年3月31日　（単位：円）

勘定科目			合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	なかべこども家庭支援センター	障害児通所支援事業所
事業活動による収支	収入	児童福祉事業収入	710,034,111	0	340,194,876	329,593,385	40,245,850	0
		障害福祉サービス事業収入	51,960,425	0	0	0	0	51,960,425
		雑収入	4,388,142	983,000	2,498,412	906,730	0	0
		寄付金収入	13,144,960	12,600,960	250,000	294,000	0	0
		受取利息配当金収入	4,406	285	1,022	2,719	23	357
		その他の収入	510,618	0	0	510,618	0	0
		事業活動収入計 (1)	780,042,662	13,584,245	342,944,310	331,307,452	40,245,873	51,960,782
	支出	人件費支出	579,005,230	1,083,300	245,345,521	246,966,972	44,924,901	40,684,536
		事業費支出	86,843,807	0	57,059,558	26,069,305	0	3,714,944
		事務費支出	34,637,189	1,762,375	16,745,837	10,083,427	4,170,672	1,874,878
		支払利息支出	23,866	0	23,866	0	0	0
		事業活動支出計 (2)	700,510,092	2,845,675	319,174,782	283,119,704	49,095,573	46,274,358
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)−(2)		79,532,570	10,738,570	23,769,528	48,187,748	△ 8,849,700	5,686,424
施設整備等	収入	施設整備等収入計 (4)	0	0	0	0	0	0
	支出	設備資金借入金元金償還支出	5,232,000	0	5,232,000	0	0	0
		固定資産取得支出	1,770,791	0	522,130	986,861	0	261,800
		施設整備等支出計 (5)	7,002,791	0	5,754,130	986,861	0	261,800
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)−(5)		△ 7,002,791	0	△ 5,754,130	△ 986,861	0	△ 261,800
その他の活動に	収入	積立資産取崩収入	1,986,320	0	9,242	1,537,596	439,482	0
		拠点区分間繰入金収入	8,000,000	0	0	0	8,000,000	0
		その他の活動収入計 (7)	9,986,320	0	9,242	1,537,596	8,439,482	0
	支出	積立資産支出	71,073,877	0	2,994,587	67,037,558	509,154	532,578
		拠点区分間繰入金支出	8,000,000	0	0	8,000,000	0	0
		その他の活動支出計 (8)	79,073,877	0	2,994,587	75,037,558	509,154	532,578
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)−(8)		△ 69,087,557	0	△ 2,985,345	△ 73,499,962	7,930,328	△ 532,578
当期資金収支差額合計 (10)=(3)+(6)+(9)			3,442,222	10,738,570	15,030,053	△ 26,299,075	△ 919,372	4,892,046
前期末支払資金残高 (11)			175,470,532	20,613,350	8,576,979	101,301,001	1,839,532	43,139,670
当期末支払資金残高 (10)+(11)			178,912,754	31,351,920	23,607,032	75,001,926	920,160	48,031,716

編集後記

このたび喜寿をお迎えになられました由、心よりお慶び申し上げます。

なかべ学院は戦後の混乱期に子供達を小野倉蔵ご夫妻が自宅に連れ帰り、共に生活したことに始まり、昭和二十一年なかべ学院が設立・認可となり　はぐくむ・はばたく・ささえる　の教育理念のもと卒院生も三千四百人となり後援会・会員各位の皆様のご支援、ご協力のおかげでめでたく喜寿を迎える事となり大変よろこんでいます。これからも皆さまと共に弛まぬ支援、協力を重ねていきたいと思います。

広報誌「そよかぜ」も会員の皆様の協力で50号を無事発刊出来ます。

今後ともよろしくお願いいたします。

太刀山　逸男

後援会加入のお願い

後援会事務局

法人 年会費　一口　一万円
個人 年会費　一口　千円

何口加入されてもかまいません。
お問い合せはなかべ学院まで
TEL083−266−1934

啓さんの知恵袋

理事長　石川　啓

「喜」の一字

「喜」の元の意味は、祝詞を奏して神に祈り、鼓楽して神を楽しませるという意。鼓はつづみを打つこと、楽は鈴をうちふること。『よろこぶ』と訓みます。

児童養護施設

院長　奥野俊昭

本格的な夏の厳しさが少しずつ近づいてまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

早いもので、私がなかべ学院に着任して四年目、院長として三年目を迎えました。児童は、目標である「コミュニケーション力を高めて すてきな人に」なれるよう、職員の支援を受けながら、毎日を大切に過ごしています。

なかべ学院は、昨年度から定員を四十五名に減員して、児童一人ひとりへの、いっそうの手厚い養育を図るために、職員一同、日々努力をしています。

その取組の一つが、令和三年度から始めている分園化です。今では三つのホームが、近隣の一戸建てを借り、各ホームで六人の児童が生活しています。それぞれのホームが、秩序を守りながら個性を発揮して、児童は、より家庭的な毎日を過ごしています。近所の方々に、機会あるごとに声を掛けていただき、児童も職員も、地域住民の優しさや温かさに、改めて感謝しているところです。

また、寄り添った支援の成果として、昨年度の卒院生は、国立大や専門学校への進学や国立大への編入など、四名の児童が大学等への進学・編入を果たしました。高校（高専）卒業後の児童が、さらに大学等へ進学するのは久しぶりのことです。それも、一度に四名です。このことをきっかけにして、学院の子どもたちの会話も、今までの「どんな仕事をしたいか」から「どんな進路選択をすれば夢が叶うのか」へと、大きく変わってきました。

今後も、夢に向かって邁進し、目標の「コミュニケーション力」を身に付けて、自信をもって社会に巣立っていける児童の育成をめざして、職員一同、精一杯頑張っていく所存です。これからも、今と変わらぬご支援・ご協力を、どうかよろしくお願いいたします。

乳児院

副院長　藤本純子

令和4年度、乳児院は一九名の措置児童と四名の一時保護児童でスタートしました。年間を通して四十四名の新しいお友達（入所十六名、一時保護三十八名）を迎え入れました。なかなか慣れずに泣いている子や人見知りせずにニコニコ笑って抱っこされている子など、様々です。

また、退所児童五十五名のうち児童養護施設へ入所した児童が5名（なかべ学院へは1名）保護者引き取りは三十二名でした。

乳児院では長くても三年間しか支援することが出来ません。安心安全の生活を保障する中で、しっかり触れ合いながら「大切な私」を実感できるよう、優しく温かい眼差しで見守りながらたくさんの笑顔があふれる毎日を過ごしています。

新院舎にきて五年目を迎えました。家庭的な養育を目指し、各ホームでご飯を炊いたりお汁を作ったりすることは日常の光景になりました。この五年間で畑がりっぱに成長しています。季節ごとの野菜を植え、子ども達と収穫し、ホームへ持ち帰って苗でて食べたり、お汁に入れたり、時には丸かじりしたりと、とても満足そうな様子です。

今何が植えてあるのか、調理室にイラストが貼ってあり、野菜の名前もたくさん覚えました。今後も子ども達と一緒に苗から育てていく中で自然に触れながら、食への興味や楽しさを伝えていきたいと思います。三年間の乳児院での生活が、色鮮やかな思い出として子ども達の心に残るよう、職員一丸となり養育に取り組んでいきたいと思います。

そよ風

所長　大塩貴子

そよ風は、平成二十六年に開所し、今年で十年目を迎えました。また障害児通所事業所が少ない中、試行錯誤しながら養育にあたっていたと聞きます。現在は、児童発達支援（定員十名　現在登録児二十三名）放課後等デイサービス（定員十名　登録児四十四名）で運営しており、午前中は未就学児を対象とした児童発達支援事業、午後は小～高校生を対象とした放課後等デイサービス事業を八名の職員が力を合わせて実施しています。

令和四年度は、コロナ禍での自粛が徐々に緩和されてきたので、今まで中止していたクッキングや所外活動を再開しました。児童発達支援では、ハロウィン、クリスマスなどのイベントの時にホットケーキを焼いて、クリームやチョコレートを職員に手伝ってもらいながら自分でトッピングしてみんなで楽しみながら食べました。放課後等デイサービスは、ホットケーキの材料の買い物から行い材料を混ぜて焼き、トッピングの工程をなるべく子ども達で出来るように支援をして、自分たちで作って食べたという達成感を持てるようにしました。所外活動では、図書館に出掛け好きな本を選び静かに見ることが出来ました。初めて行った子どもが多く、良い体験ができたと保護者の方も喜んでおられました。食育では、バケツ稲に挑戦し、お米の出来る過程を体験しました。

今年度は、乗り物体験や、公共の施設への所外活動を多く取り入れ、いろいろな体験を通して社会のルールを伝えていきたいと思います。また「そよ風農園」も3年目に入り土の改良も進みシャガイモ、玉ねぎなどたくさんの収穫が出来たのでこれからも色々な作物に挑戦し、子ども達と一緒に収穫体験を楽しみ、それらを使ったクッキングも取り入れていきたいと思います。そしてそよ風の特徴である広々とした院庭などの環境を活用しながら一人ひとりの発達の特徴に合わせた療育、支援を心掛けていきたいと思います。

【寄附・寄贈】（順不同　敬称略）

令和4年4月1日～令和5年3月31日

たくさんの皆様のご支援に心から感謝申し上げます

- 藤田　昌雄
- 亀田　清紀子
- 植田　実知子
- 平田　康子
- ㈱ものばんく
- ㈱広電工業
- ㈱田渕建材
- 王司こどもクリニック
- MHI下関エンジニアリング労働組合
- 咲賀　信幸
- ㈱ナカハラプリンテックス
- 夢現の会
- 関門港湾建設㈱
- 角倉町自治会
- 志村　糧一
- 木上　幸子
- 尾之上　寧生
- 下関ロータリークラブ
- 弘山　直滋
- 河野　恭二
- かにの集い
- ㈱Bewin
- 倉橋　吉則
- 山口サンタさん会
- 三井化学労働組合下関分会
- 日本キリスト教会下関教会
- 宇部魚市場㈱
- 栗屋　幹雄
- 戸倉　淳
- 永田　博之
- ㈱Oasis&Desiree
- 藤　勝子・匿名　14
- JRC・匿名　14
- アトリエ心
- 中村物産㈱
- 日本鯉のぼり協会
- 河本　準一
- 赤間神宮
- 大駅　登志子
- ㈱Wホールディングス
- 下関青年神職会
- 林兼産業㈱下関工場
- マルハニチロ㈱下関工場
- JETBOOK作戦
- 長山　美津子
- 河野　洋子
- ㈲田村青果
- 荒木　正和
- 脇永　光世
- ㈲山田仏壇店
- 更生保護女性会豊浦西地区
- かるがも食堂
- 今浪　竹夫
- 小園　喜代子
- 食卓クラブ
- ㈱イエロースタジオ
- 彦島地区まちづくり協議会
- 準組・テスタ
- ㈾ジーゼット
- ㈱光陽社自学ノート事務局
- 西山　一夫
- 佐久間　一
- 黒津　愛奈美
- 藤永　健一
- 東條　麻希
- セブンイレブン福浦口店
- ㈱寿工務店
- 東村　珠美
- 長山　美津子
- 松山　健治
- ㈲魚工房鮮福
- 田中　美江
- 三和商事㈱
- 村上　玲子
- BNR
- 松村　香織
- 井上　仁利
- 今田　千恵美
- 福永　志作
- 内牧　和博
- 永福寺
- 中尾　清
- ㈱夢番地
- 下関掃除に学ぶ会
- NPO法人タイガーマスク基金
- ㈱フレーベル館
- やまぐちHEARTBEATBANAB1　実行委員会
- 亀山八幡宮
- 山の田なかま食堂
- ウェンディ
- 東海林　拓也
- 山口防災工業㈱
- HARIASYMPHO
- 柴田　久
- 田中　作治
- 全国シャンメリー協同組合
- 竹村　克司
- 有田　加代子
- 西華産業㈱
- 脇田　良明
- NPO法人カカオの木
- ㈱ゆうちょ銀行広報部
- 中村　精治
- ㈱神戸製鋼所
- あさひ製菓㈱
- 日本鏡餅組合
- 公益財団法人　中部財団
- ドミノピザ下関宝町店
- サンタプロジェクトtNAKAMA
- 鈴木歯科
- 平成の会
- 門司　一徹
- ㈱蟹屋
- 日本高速道路メンテナンス九州㈱
- 朝鮮人総聯下関支部
- 土屋　茂康
- 山口県ことばを育てる親の会
- 三宅　晃太
- 武田　順子
- 山下　晋吾
- ㈱日本教文社
- 思いやり活動まるごと薩摩本部実行委員会
- 山口県共同募金会
- 毎日新聞西部社会事業団
- 内牧　和博
- 内藤　彩信
- 倉益　豊
- ㈱定慧
- 宝グループ宝の食卓
- 石橋　孝江
- 日本料理つかさ
- 下関底びき網漁業ブランド化協議会
- 国際ソロプチミスト東下関
- ㈱明治
- 明治ホールディングス㈱
- あさひ製菓
- 日本ベビーフード協会
- 小林　美由紀
- 東村　香織
- 東村　珠美
- 小村　佳奈
- 大江　正人
- 古川　純・アヤ子
- 田中　筈志
- 宮濱　博・直子
- 匿名　14

紙風船

相談支援員　三輪龍二

本年四月一日より「こども家庭庁」が新たに創設されました。そして「こども真ん中社会の実現」に向けた重要施策として「地域子育て支援事業」を挙げています。少子化、児童虐待、不登校、ヤングケアラーなど様々な課題に対して児童家庭支援センターの子育て支援に寄せる期待感が高まっております。

そうした中で、なかべこども家庭支援センター「紙風船」の昨年度の相談対応件数は、2,832件と3年連続で増加傾向にあり、また、児童相談所からの指導委託件数も令和3年度の5件から13件と大きく増加しております。養育支援訪問事業やこども家庭支援拠点事業の定着を含めて、紙風船の事業が地域、関係機関等に広く認知され、期待を寄せていただいている表れだと考えております。

また、児童虐待の問題では、コロナ禍に合わせる形で「下関オレンジリボンアクション」を関係機関と力を合わせて活動して参りました。その成果もあってか、紙風船の虐待対応件数はこの3年間減少傾向にあり、下関児童相談所の虐待対応件数は市町の規模から考えても他児相より少ない数となっています。このことに甘んじることなく、今後も関係機関と連携して虐待の予防や見守り、相談支援に努めてまいりたいと思っております。

こども家庭庁の掲げる「こども真ん中社会の実現」のため、下関市の子どもたちのため、紙風船は今後も日々精進して参りますので、益々のご理解とご協力を賜りますよう心底よりお願い申し上げます。

イメージキャラクター
オレンジリボンマン